

領域	実習科目	単位	時間数	対象学年	単位認定者
統合分野	統合実習	2	90	3年次	高木佳寿美

実習概要

看護基礎教育課程における臨地実習の最終到達点としてこれまでの学習および実習にて得た知識・技術・態度を統合して看護実践を行う実習として位置づける。これまでの実習で培ってきた能力を基に、看護師の実際の業務に即した状況下での実習を行い、総合的な判断や対応の能力を養う。ケアの優先順位の判断や時間管理をすることで適切な看護を実践し、一定時間内に業務を完了する方法を理解する。さらに病棟で行われている看護管理の実際を体験し、マネジメントについて学ぶ。

科目目標

複数の対象を受け持ち、優先すべき情報、ケアを学び、実践できる能力を養う。病棟における看護業務の実際を体験し、看護師としての責任と自覚を養う。チーム医療、他職種との協働におけるマネジメントやメンバーシップの実際を学ぶ。看護師長業務の実際を体験し、病棟管理、業務管理などの管理の実際を理解できる。

実習計画

実習場所・時間	内容及び方法
NHO 熊本医療センター 5 西病棟 5 南病棟 6 東病棟 6 南病棟 6 北病棟 7 東病棟 7 西病棟 7 北病棟	<p>看護を実践していく上で、対象の健康状態をアセスメント・看護介入し、健康の維持・増進に努めていくのはもちろん、それは看護師が単独で展開していくものではなく常にチームで協働していかなければならない。そのため他職種と連携・調整を図りながら、そのチームの中で看護独自の機能を発揮し、主体的に看護実践していく。また、病棟では複数の対象を同時にケアしていかなければならない。その中でケアの優先順位を判断しながら、対象個々に応じた看護を展開していくマネジメント能力が必要となる。更に、対象を24時間の経過の中で捉えていくことが大切であり、24時間の療養生活を支援していかなければならない。</p> <p>そこで、これまでの実習を通して得た看護実践能力を更に高めていけるように、複数の対象を受け持ち、優先順位を判断し安全安楽に留意しながら看護を展開する。また、チームの一員として看護師同士また他職種とどのように連携を図っていくか実践を通して理解する。さらに、対象者を生活者として捉えるために、地域から来て地域に戻っていく存在としての対象理解や、起床から就寝までの24時間を理解したうえでの対象理解をする。</p>
備考	